

人はなぜ薬物依存症になるのか？

— その理解と回復支援 —

講師

松本 俊彦 先生（国立精神・神経医療研究センター）

薬物依存症は、マスメディア等で大きく取り上げられることがある一方、その実情については、いまだに誤解が多いと言われています。

今回、薬物依存症の治療に長年第一線で取り組まれておられる**松本俊彦先生**（精神科医）にご講演いただくことになりました。松本先生は「SMARPP」をはじめとする治療プログラムの開発の他、患者さんが回復しやすい社会を作るための活動に精力的に取り組まれています。

ご関心のある方はどなたでもご参加いただけます。（無料・要事前申込）



講師プロフィール：国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部部長兼薬物依存症治療センターセンター長。1993年、佐賀医科大学卒業。2004年に、国立精神・神経センター精神保健研究所司法精神医学研究部室長に就任。以後、同研究所自殺予防総合対策センター副センター長などを歴任し、2015年より現職。
著書に『よくわかるSMARPP』『薬物依存臨床の焦点』（金剛出版）、『アルコールとうつ・自殺』（岩波書店）、『自分を傷つけずにはいられない』（講談社）、『薬物依存症』（ちくま新書）など多数。

日時

2019年12月21日（土）13:00～15:00（受付 12:30～）

会場

目白大学10号館9階（東京都新宿区）

司会

堀川 聡司（目白大学心理カウンセリングセンター助教）

申込方法

当センターホームページの申込フォームより（12月17日（火）まで）

<https://www.mejiro.ac.jp/counseling/app/>

- * ご不明な点がございましたら下記までお問い合わせ下さい。
- * 個人情報は本学規程に基づき、厳重に管理致します。

